

「宮本賞レター交流 2023」のご案内

第 11 回宮本賞の受賞者とレターで交流するプロジェクトをご案内いたします！

宮本雄二監修・日本日中関係学会編(2023)『若者が考える「日中の未来」vol.9：嫌中感情に打ち勝つ「華流」の可能性』日本僑報社を読んだ方が、各論文の執筆者の若者に宛てて、読後感とエールを届けることを企図するイベントです。

レターの内容・字数は自由です。できるだけ、題目、問題提起、分析手法、結論などについて具体的なコメントを含めた感想として WORD で作成し、レター本文 400~800 字でお願いいたします。頂戴したレターは、青年交流部会事務局を通じて、執筆者に電子メールでそのまま届けられます。宛て先は以下 12 編の論文の作者から選択してください。

1	嫌中感情に打ち勝つ「華流」の可能性 ～「韓流」との比較から見る～ 呉雨欣さん（東京大学法学部第3類4年）
2	近代日中における「常識」論に対する一考察 張愉佩さん（武漢大学中国伝統文化研究センター修士3年）
3	日中の異文化コミュニケーションについて ～日本語学習と職場経験を通じた日系企業の価値観とその展望～ 鄧麗珊さん（広東外語外貿大学日本語学部日本語通訳学科 1年）
4	渋沢栄一の中国観から学ぶべきこと 沈小溪さん（上海財経大学日本語学科 2022年7月卒業）
5	インダストリアルメタバースの導入について ～日中製造業の未来に向けて～ 木谷加奈子さん（明治大学経営学部経営学科4年）
6	古代日中の文化交流に関する考古学的考察 ～特殊須恵器からみた～ 陳永強さん（名古屋大学大学院人文学研究科博士前期課程2年）
7	中国人の心を奪った村上春樹作品の翻訳戦略 ～林少華の翻訳目的と彼の「塩味」に関する考察～ 王霄漢さん（東北大学大学院国際文化研究科博士2年）
8	介護ビジネスエコシステム構想の再吟味 ～日中の介護ロボットの開発と普及をめぐる検討～ チーム Furi(フーリ)（日本大学商学部高久保豊ゼミナール） 二見啓介さん 奥井陸平さん、清水佳さん、中野いづみさん、耿奕錦さん
9	自動運転車の開発体制に関する一考察 ～中国式から学びうるもの～ チーム PerTech(パーテック)（日本大学商学部高久保豊ゼミナール） 鈴木祐弥さん 須田直幸さん、小池栞理さん、白石優太さん、向響生さん

10	中国のフードデリバリーから見る「民間レベルの日中関係」 (青山学院大学国際政治経済学部陳継東ゼミ3年) 有次里咲さん、一瀬知恵さん、小澤眞有さん、小谷野浩太さん、 坂田澁司さん、櫻庭駿介さん、趙哲偉さん、山口杏菜さん
11	和して同ぜず：雅楽「太平楽」の生成と変容 向偉さん(北京大学外国語学院日本語文化系博士課程4年)
12	周作人を変えた二つの体験～彼が女性解放運動で得たものは何か～ 張蕊さん(東北大学大学院国際文化研究科博士後期課程)

●応募要領：WORDで作成し、以下についてご明記をお願いいたします。

①レターの宛て名(上記12作品を執筆した個人またはチーム)

②レター作成者ご自身のお名前、ご所属、連絡先(メールアドレス等)

③レター本文(400～800字)

※ファイル名は「×××論文へのレター(差出人氏名)」としてください。

チームの場合、「チーム Furi/チーム PerTech/陳継東ゼミ」と記して下さい。

※2編以上の作品へのレターも受け付けます。分けてご投函ください。

●受付先：日中関係学会 青年交流部会 高久保 豊(部会長)

メールアドレス：takakubo.yutaka@nihon-u.ac.jp

件名：宮本賞レター交流2023(×××論文へのレター)

※受付後1週間以内に発信者にお伝えします。返信がない場合、お問い合わせください。

※受付先を經由して、頂戴したメールをそのまま執筆者にメールで転送いたします。

●締切：2023年5月8日(月)

●応募資格：日中関係学会の学生会員のほか、壮年・シニアの会員、会員でない青年の方や、
大学教員とゼミ生の皆さまなども歓迎です。ふるってご応募下さい。

※2023年度の青年交流部会第1回定例会(5月24日(水)18:30～21:00開催)では、遠隔会議システム(Zoom)により、執筆者を囲む形でブレイクアウト・セッションを組み、出会いの場を設けることにしました。別便のご案内をご覧ください。どうぞお楽しみに！

日中関係学会 青年交流部会 事務局